

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 図書館法第3条各号に規定する事項に関すること。 (2) 図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3) 市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4) 読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5) 図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては利用冊数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95%:4点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(R3年度実績) R4:569,688冊 R3:558,405冊 【参考】前指定管理期間の平均:634,673冊(R2:516,286冊、R1:644,2860冊、H30:662,333冊、H29:680,520冊、H28:669,967冊) 【参考】開館日数:R4:295日、前指定管理期間の平均日数:290日(R2:259日、R1:301日、H30:299日、H29:296日、H28:296日)	4点		
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比(102%)=利用冊数(569,688冊)÷558,405冊(上記②適用)					
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては貸出人数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95%:4点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(R3年度実績) R4:135,683人 R3:132,427人 【参考】前指定管理期間の平均:167,893人(R2:118,961人、R1:158,491人、H30:164,904人、H29:169,591人、H28:169,185人)	4点			
					平均値比(102%)=利用人数(延べ135,683人)÷132,427人(上記②適用)						
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る:2～0点	年次報告書P269～P274 ①第56回多治見市文芸祭 (1)一般の部(742人 1,425点)、小中学生の部(5,363人 9,100点) (2)応募点数は一般の部86点増、小中学生の部363点減 ②企画展示事業 季節のミニ展示(45回) ③郷土資料室 (1)古文書ミニ展示(5回) (2)郷土資料を活用した講座(講座タジミ学2回、古文書講座3回) (3)郷土資料の活用・提供 (4)令和版多治見かるたの作成	仕様書以上 14点	①文芸祭一般の部では昨年を上回る応募が全国からあり、関心の高さがうかがえる。昨年度に引き続き高校からの応募もあり、今後の若い年齢層からの応募にも期待する。 ②企画展示は年間を通じて45回実施されている。職員全員が業務の中で時事に対してアンテナを張り、企画が継続されている。 ③郷土資料を活用した講座は、古文書の読解だけでなく多治見の歴史にも関心を持ってもらえるよう工夫した「タジミ学」が好評。学習館との連携で多くの市民に講座のPRに努めた。 ④郷土への関心や多治見の風景を後世に残そうと「令和版多治見かるた」を作成。絵札用の絵を市内幼・保・小・中から123枚の応募を得たほか、たじみ風景絵画コンクール149作品からも選定を行うなど、市民の参加にも取り組まれた。	14点			
					年次報告書P275～291 ①ブックスタート事業、読書活動団体連携事業 (1)ブックスタート(24回571組) (2)小さなおともだちのためのおはなし会(23回324人) (3)読書活動団体との連携「劇団風の子中部ワークショップ」(2回50人) (4)読書活動団体との連携「絵本作家講演会」(1回70人)「原画展」 ②英語多読支援事業 (1)英語多読講座(3回49人+9組)、(2)多読クラブ(12回79人) ③読書推進事業 (1)トショカンフェス(496人)、(2)図書館おみくじ(600人) (3)多治見高校図書館ゼミ (4)他館との共催による読み聞かせ (小泉公民館2回14組、根本交流センター2回39組、精華交流センター1回23組) (5)企画展示(95回)、(6)啓発・連携展示(13団体・30回) (7)雑誌リサイクルフェア(231人)	期待以上 13点	①ブックスタート事業を再開。図書館の説明を行い、絵本のプレゼントも再開し、職員の思いが直接伝わる機会となった。 ②読書活動団体との連携で実施されたワークショップや講演会では、市民に本を読む楽しみへの啓発活動に取り組まれた。親子ワークショップでは両親と子での参加が多く、父親の子育てへの関心の高さがうかがえたことを今後の事業に活かされたい。 ③多読クラブの対面開催を再開。また学習支援のための講座も開催。初学者のために親子で参加できる講座を初めて対面開催し、小さな子ども連れの親子が多数参加するなど学習支援に努めた。 ④「トショカンフェス」では各ブースでのクイズラリーや、普段足を運ぶことの少ない郷土資料室を知ってもらう機会づくりに取り組まれた。 ⑤「くまのがっこう子育て応援プロジェクト」としてジャッキーのお洋服コンテストを実施。200を超える応募があり、多くの方に関心を持たれる事業となった。	13点			
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P258(学習館と共通) ①図書館として定期清掃、日常清掃を実施。ロボットクリーナーによる清掃を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点			
		②保守・点検			年次報告書P258、259(学習館と共通) P292 図書館として機器等保守点検(図書館システム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
		③保安・警備			年次報告書P259(学習館と共通)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
		④小規模修繕			年次報告書P260、261(学習館で一部対応) P292 図書館としての有償修理 全4件 総額234,498円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P292 ①毎朝の日常点検から本棚や机、椅子等のネジの緩みの確認、エンジェルカート、ワゴンカートの動作確認を実施。 ②救命救急講習を休館日の閲覧フロアを利用して実施。救急時の動きを確認。 ③利用者が触れるパソコン画面や筆記用具の消毒を開館前に実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P293 ①市のファイリングシステムに準じて適切な管理と情報を共有。 ②フロアが3階層に分かれているため、各階の業務用パソコンで職員が相互に業務連絡やメールの最新情報を把握できる体制の確立。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P293 ①エアコンの冷房と壁掛扇風機を併用。カウンター前にダクトレールファンを設置。 ②除籍資料はリサイクルフェア等を活用して利用者や公民館へのリユース。 ③除籍した児童書を再活用し葉を作成。廃材を活用したエコ工作を提案。 ④再利用に耐えられない除籍資料は古紙リサイクル。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P293 ①ホームページでの本の検索に障がい者支援ブラウザを導入。視力が弱い利用者を支援(H30から1年更新、東濃3市では本市のみ) ②館内の案内はイラストや大きな文字を用い、幅広い年代に応えられるよう工夫。 ③開架フロアに「車いす優先席」を設置。掲示物はイラストを交えユニバーサルデザインに心がけている。 ④文字が読みづらい利用者向けに「大活字本」を提供。また所蔵する録音図書は障害がなくても字が見難い方にも貸出を行っている。 ⑤トショカンフェスでDAISY図書をPR。利用者増につなげた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P293 ①やさしすと文庫基金や環境整備事業等を活用し、資料が活用されやすいよう備品を整備。 ②経年劣化や不具合のみられる機器等は、迅速な修繕、更新を心掛けている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P293 ①各階にシュレッダーを配置し、個人情報記載の書類は適宜廃棄。 ②図書館システムの画面(貸出・返却)は、可能な限り個人情報を表示しない設定。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	
			3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入291,236,913円÷支出288,196,996円＝101%(学習館、子ども情報センター、市民活動交流支援センター含む) ※上記収入のほか、多治見市より「新型コロナウイルス感染症対策指定管理者緊急支援金」として169,680円別途交付。
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P295 ①平和学習コーナーを新設し、市民の平和学習をサポートしている。資料の選定においても市民の声を反映。 ②雑誌リサイクルフェアの受付と結果のメール対応を開始。 ③より様々な資料への出会いを提供するために、「おみくじ」形式で資料を案内。 ④利用の多い「おはなしの部屋」のリニューアルを行い、より快適な空間に改装。	期待以上 9点	①市民団体からの寄附による平和学習図書のコーナーを設置し、その選書にあたっては、よりニーズに合った資料を所蔵するように努めている。 ②リサイクルフェアの受付と結果の通知をメールで可能としたことについては、様々な手続きがオンラインでできる世の中において、利用者のニーズにもマッチした取組み。 ③「おはなしの部屋」のリニューアルで、授乳スペースの環境改善や外光の取り込み、壁クロスの装飾など居心地の良い空間整備に努めている。	9点
		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P296～297 ①図書館の資料の場所が誰でもすぐわかるように、シールの添付作業を実施。 ②図書館の隠れた魅力を発信する「サタデーナイトライブラリー」「トショカンフェス」の実施。 ③資料と利用者、利用者同士をつなぐため「TadokuBox」を設置した他、対面での講座と多読クラブを再開。 ④図書館の事をより多くの方に知ってもらうため、市役所の各課を始め観光協会、近隣の高等学校、銀行、NPO団体等との連携を強化し事業を行った。	期待以上 13点	①資料管理のためのシール貼りや、シールの色を色覚障がいのある利用者にも目立つ色を採用するなど、利用者の声を受けて、小さな工夫が都度図られており、毎年少しずつ図書館の利便性が高まっている。 ②「サタデーナイトライブラリー」「トショカンフェス」は、図書館が本の貸出だけでなく、様々な役割をもっていることを、楽しみながら紹介できる取組み。図書館の魅力を積極的に発信するため、普段の利用者層以外を呼び込むための講演会の実施など、幅広いニーズに応える事業を展開。所蔵する古地図の複製の頒布など、資料の有効活用も図られている。 ③他機関・団体との連携を密にして、他施設での読み聞かせや図書館ガイダンスを実施。対外的に図書館への理解を深める取組みでもあり、図書館の地域貢献にもなっている。 ④資料から利用者同士を繋ぐ図書館を目指し、SNSでの情報発信や「TadokuBox」の設置、デジタルサイネージによるPRなど様々な方法に取り組まれている。	13点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計86点
						全体的な評価 ①足を運ぶ度に少しずつ環境改善が図られており、企画展示も次々と切り替えて、来館者を飽きさせない工夫と努力がうかがえる。 ②イベントの中で図書館や読書への興味を持ってもらうための仕掛けや、郷土資料室の敷居を低くして郷土の歴史に触れてもらう機会を設けて、図書館ユーザー以外へのアプローチの模索に努めている。様々な手法、継続的な取組みで効果を図られたい。			極めて良好